



十和田市立中央病院

病院ニュース

さわらび

平成 29 年 5 月 8 日号

十和田市民図書館に「がん情報コーナー」が設置されました。

がん相談支援センター がん相談員 平野 玲



全国に広がる図書館と医療機関の連携

がんをはじめとする健康や医療に関する情報を、生活の中で身近に感じられるような環境づくりを目指して、誰でも気軽に立ち寄れる場所である図書館と、医療機関の連携が全国で少しずつ広がっています（国立がん研究センター「がん情報普及のための医療・福祉・図書館の連携プロジェクト」）。

がんと診断されると、大きなショックの中で情報を集め、難しい決断をしなくてはならないことが押しよせます。どこに行けば正しい情報があるのか、誰に相談すればいいのか悩まれる方も少なくありません。また、がん相談支援センターに持ち込まれる相談の多くは、「どう生きるか」という大きなテーマが関わってきます。これも病気になる

前から考えていかないと間に合わない問題ではないかと感じています。病気になる前から、がんについての情報や相談窓口を知っておくことが、「がんの予防・早期発見」や「がんになっても安心して暮らせる社会」につながっていくのではないのでしょうか。

当院も昨年 12 月、丹野院長より「当院と十和田市民図書館との立地を生かして、市民の皆様のために当院が何かできることはないか」との提案があり、国立がん研究センターでのプロジェクトを参考にした企画をつくりました。その後、丹野院長が市民図書館を訪問して、前館長八嶋さんと協議を行い、平成 29 年 3 月から市民の皆様には有益な医療情報の提供と、がん相談支援センター（がん相談窓口）の周知を目的として、十和田市民図書館に「がん情報コーナー」が設置されることになりました。

今後は、利用される方からのご意見を参考にした希望図書や情報提供を行い、がん相談支援センターの周知と地域へ貢献できるコーナーにしていきたいと思えます。また、官庁街を挟み、お隣という好立地を生かして、医学講演会のコラボ企画や、出張がん相談、出張がんサロン、病院推薦図書、院内図書室との連携なども検討できたらと思っています。



図書館の窓から見える当院



がん相談支援センターは、全国のがん診療連携拠点病院に設置されているがんの相談窓口です。役割の一つとして、「がんに関する正しい情報の提供」がありますが、当院では病院内でがんに関する冊子やチラシを自由に持ち帰れるように冊子コーナーを設置しています。院内だけでも年間約 5000 部の冊子が活用されています。





「緩和ケアセミナー」

～アロマセラピーの活用方法と精油を使用したハンドマッサージ～

6階西病棟 力石 圭子



平成 28 年度を締めくくるセミナーとして、アロマセラピーのメカニズムやケアへの取り入れ方法をテーマにして 3 月に開催されました。患者さんの苦痛を緩和する方法をひとつでも多く知っていることは、援助する側の自信につながり、また患者さんの満足感を得られるのではないかと考えます。

セミナーの後半には、精油を使用したハンドマッサージを行いました。講義中は、静かでどんよりとした空気でしたが、マッサージを開始すると「気持ちいい」との声が聞かれ、和やかな雰囲気となりました。また、初対面同士のペアは、初めただどしく会話ができている様子でしたが、マッサージを開始すると笑顔で会話している様子が見えられました。ケアとして、相手を思いながらタッチングすることは、お互いの関係を近づけ、癒しを与える効果があると改めて感じるセミナーとなりました。

まだまだ、当院のアロマセラピーは認知度が低く活動も小規模となっています。今後も、セミナー等で広報活動を行い現場で実践しながら、様々な苦痛を抱える患者さんのケアの選択肢のひとつにアロマセラピーが挙げられるように努めていきたいと思っております。



5月12日「さわらびパーティー」で表彰されます！

業務課課長 下川原 銀也



2016 病院グランプリ（事業管理者基金事業）は、「LC0（ローコストオペレーション）活動事業」（業務課施設管理係 主任主査 竹内 雅紀さん）に決まりました。

受賞理由は、業者による院内への商品紹介における業務課への事前届出のルール化、展示会方式による商品紹介、病院幹部職員による業者面談の実施などの新たな手法を導入し、健全な競争環境を整備するとともに業者側からの新規参入、新規提案を促進し、結果として大幅なコスト削減に結びつけたことによるものです。これを励みに今後もこの取り組みを進め、病院経営への貢献が期待されます。



平成 28 年度の 1 日平均入院患者数の目標を達成した診療科は、呼吸器内科と整形外科です。呼吸器内科は、目標 15 人に対し 15.59 人、整形外科は、目標 44 人に対し 44.70 人でした。

両診療科には、全体として入院患者数が少なかった中において、目標を達成されましたことに敬意を表したいと思います。



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>